



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 大
 コード番号 9723 URL http://kyotohotel.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岩 孝一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 柳瀬 光義 (TEL) 075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績 (平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|-------|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年12月期第2四半期 | 4,567 | △5.1 | 114 | △57.4 | △128 | - | △144 | - |
| 22年12月期第2四半期 | 4,813 | 4.6 | 269 | 97.1 | 34 | - | 13 | - |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期第2四半期 | △14.08 | - |
| 22年12月期第2四半期 | 1.28 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年12月期第2四半期 | 20,180 | 1,807 | 9.0 | 175.84 |
| 22年12月期 | 20,343 | 1,963 | 9.7 | 190.94 |

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 1,807百万円 22年12月期 1,963百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期 | - | - | - | 3.00 | 3.00 |
| 23年12月期 | - | - | - | - | - |
| 23年12月期(予想) | - | - | - | 3.00 | 3.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,723 | △1.9 | 482 | △25.7 | 46 | △75.8 | △50 | - | △4.81 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有
新規 -社 ()、除外 1社 (有限会社おいけプロパティ)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 23年12月期 2Q | 10,338,000株 | 22年12月期 | 10,338,000株 |
| 23年12月期 2Q | 57,020株 | 22年12月期 | 56,477株 |
| 23年12月期 2Q | 10,281,282株 | 22年12月期 2Q | 10,282,610株 |

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. その他の情報 | 5 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 5 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高傾向や株価の低迷に起因する景気の不透明感が残るなか、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により国内経済は多大な影響を被り、先行きの情勢を見極めることが困難な状況となりました。

京都のホテル業界におきましても、国内観光客は持ち直しつつあるものの、外国人観光客は依然として大きく減少し、加えて法人宴会の自粛傾向も続きました。

当社ではこのような環境の中ではありましたが、創業123年を迎えたことによる高付加価値の記念イベント開催やレストランにおきましては特別メニューの開発・提供に注力し、また、設備面においてもからすま京都ホテルの改装工事に着手し、本年3月より京都らしい和のテイストを取り入れて、意匠を施したホテルとしてリニューアルオープンいたしました。

こうしたことの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,567,572千円（前年同期比5.1%減）、営業利益は114,749千円（前年同期比57.4%減）となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

宿泊部門

京都ホテルオークラは、国内エージェント団体・個人旅行、インターネット予約が順調に推移していましたが、3月11日の震災により特に外国人旅行のキャンセルが続きました。その後はインターネット予約を中心に回復基調にはありますが、上半期の結果としましては平均稼働が前年比5.9%減の74.7%、室料収入は前年同期比69,433千円減となりました。

からすま京都ホテルは、修学旅行やインターネットの個人予約が回復基調となっていますが、ロビーおよび客室等の改装による休業と、震災による外国人旅行のキャンセル等が影響して、室料収入は前年比51,938千円減となりました。

この結果、売上高は1,275,204千円（前年同期比11.2%減）となりました。

宴会部門

京都ホテルオークラは、婚礼宴会で低料金プランを企画して件数増を期待しましたが、前年並みに留まり、売上高は前年同期比28,141千円減となりました。一般宴会におきましては、集客力のあるイベントを積極的に展開して売上増に努めましたが、インセンティブ宴席の相次ぐキャンセルの影響もあり、売上高は前年同時期比31,215千円減となりました。

からすま京都ホテルは、ロビー改装に伴う休業により一般宴会の件数が減少し、加えて震災の影響による宿泊客減少に伴う朝食売上の伸び悩みもあり、各種イベントで巻き返しを図りましたが、前年同期比8,827千円減となりました。

この結果、売上高は1,641,912千円（前年同期比4.0%減）となりました。

レストラン部門

京都ホテルオークラは、テラスレストラン「ベルカント」のランチ企画およびフェア企画により入客が増加し、鉄板焼「ときわ」もランチが堅調に推移しました。焼きたてパン「パネッテリアオークラ」、京野菜「了以」は改装の効果が継続しており売上増加に繋がりました。一方、前年販売好調であった「食べるラー油」の伸び悩みもあり、売上高は前年同期比84,235千円減となりました。

からすま京都ホテルは、昨年全面改装した中国料理「桃李」、本年3月にオープンしたテイクアウトショップ「レックコート」が順調に推移し、さらに4月にオープンしたお食事処「入舟」の効果もあり前年同期比23,284千円増となりました。

この結果、売上高は1,266,426千円（前年同期比4.6%減）となりました。

その他部門

その他部門の売上高は384,029千円（前年同期比12.9%増）となりました。

前年同期と比較して増加している主な要因は、京都ホテルオークラ別邸京料理「栗田山荘」におきまして、『季節のコンサート』や『蛍の夕べ』などのイベント開催や、ランチメニューなどが好調に推移したことによるものです。

部門別の売上高および構成比等は、以下のとおりです。

| 区分 | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日) | | 前年同期比 (%) |
|---------|---|--------|--------------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | |
| 宿泊部門 | 1,275,204 | 27.9 | △11.2 |
| 宴会部門 | 1,641,912 | 36.0 | △4.0 |
| レストラン部門 | 1,266,426 | 27.7 | △4.6 |
| その他部門 | 384,029 | 8.4 | 12.9 |
| 合計 | 4,567,572 | 100.0 | △5.1 |

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ163,341千円減少し、20,180,149千円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8,082千円減少し、18,372,243千円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ155,259千円減少し、1,807,906千円となり、自己資本比率は9.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出などにより、前連結会計年度末に比べ14,248千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,089,824千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は144,126千円（前第2四半期連結累計期間比345,239千円の支出の増加）となりました。これは主に利息の支払い217,112千円であったものの、減価償却費428,383千円などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は333,142千円（前第2四半期連結累計期間比238,397千円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得332,845千円による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は174,767千円（前第2四半期連結累計期間比591,693千円の増加）となりました。これは主に長期借入金の増加が434,180千円などがあったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年2月14日に公表いたしました業績予想から、本日公表の「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。

また、平成23年12月期第2四半期の業績予想の修正につきましても、本日「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりますので、ご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

前連結会計年度末において、当社の連結子会社でありました有限会社おいけプロパティは、平成23年6月1日付で当社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅しております。

これにより、当第2四半期会計期間末から当該子会社を連結の範囲より除外しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

② 重要なヘッジ会計の適用

第1四半期連結会計期間より、借入金のうちシンジケートローン契約の一部について、金利変動のヘッジ手段として金利スワップ取引を採用しております。

また、金利スワップについては、特例処理の要件を満たしておりますので、特例処理を採用しております。

当社グループは借入金利の変動リスクを回避し効率的に管理する手段として金利スワップ取引を採用しており、金利の変動が損益に与える影響を軽減することを目的としております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,089,824 | 1,104,073 |
| 売掛金 | 321,136 | 477,020 |
| 原材料及び貯蔵品 | 56,460 | 88,432 |
| 繰延税金資産 | 101,881 | 39,852 |
| その他 | 84,891 | 46,082 |
| 貸倒引当金 | △286 | △1,698 |
| 流動資産合計 | 1,653,907 | 1,753,762 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,683,744 | 12,857,689 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 52,893 | 43,295 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 232,169 | 213,596 |
| 土地 | 5,049,750 | 5,049,750 |
| リース資産（純額） | 63,418 | 74,160 |
| その他 | 1,751 | — |
| 有形固定資産合計 | 18,083,727 | 18,238,491 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 14,036 | 15,105 |
| リース資産 | 76,420 | 91,211 |
| その他 | 4,429 | 4,429 |
| 無形固定資産合計 | 94,886 | 110,747 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 117,264 | 128,957 |
| 繰延税金資産 | 30,934 | 49,308 |
| その他 | 207,530 | 70,325 |
| 貸倒引当金 | △8,102 | △8,102 |
| 投資その他の資産合計 | 347,627 | 240,489 |
| 固定資産合計 | 18,526,241 | 18,589,728 |
| 資産合計 | 20,180,149 | 20,343,491 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 150,301 | 245,815 |
| 短期借入金 | 2,097,000 | 2,097,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 735,000 | 13,455,820 |
| リース債務 | 54,010 | 53,438 |
| 未払金 | 435,211 | 658,772 |
| 未払法人税等 | 14,956 | 76,269 |
| その他 | 439,231 | 458,676 |
| 流動負債合計 | 3,925,712 | 17,045,792 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 13,155,000 | — |
| リース債務 | 96,743 | 123,892 |
| 退職給付引当金 | 70,627 | 79,170 |
| 役員退職慰労引当金 | 36,882 | 32,301 |
| 長期預り保証金 | 1,087,276 | 1,094,168 |
| その他 | — | 5,000 |
| 固定負債合計 | 14,446,530 | 1,334,532 |
| 負債合計 | 18,372,243 | 18,380,325 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 950,000 | 950,000 |
| 資本剰余金 | 209,363 | 209,363 |
| 利益剰余金 | 672,494 | 848,109 |
| 自己株式 | △24,352 | △24,142 |
| 株主資本合計 | 1,807,506 | 1,983,330 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 399 | △20,164 |
| 評価・換算差額等合計 | 399 | △20,164 |
| 純資産合計 | 1,807,906 | 1,963,165 |
| 負債純資産合計 | 20,180,149 | 20,343,491 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 4,813,613 | 4,567,572 |
| 売上原価 | 1,004,242 | 972,775 |
| 売上総利益 | 3,809,370 | 3,594,796 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,540,316 | 3,480,047 |
| 営業利益 | 269,054 | 114,749 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 154 | 115 |
| 受取配当金 | 1,480 | 1,553 |
| 受取手数料 | 4,160 | 2,891 |
| 補助金収入 | — | 4,954 |
| その他 | 4,827 | 4,038 |
| 営業外収益合計 | 10,621 | 13,552 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 226,385 | 229,136 |
| その他 | 18,794 | 27,183 |
| 営業外費用合計 | 245,180 | 256,320 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 34,495 | △128,018 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,378 | 1,412 |
| 特別利益合計 | 1,378 | 1,412 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7,125 | 27,149 |
| 投資有価証券評価損 | — | 46,302 |
| 特別損失合計 | 7,125 | 73,452 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 28,748 | △200,058 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,913 | 2,412 |
| 法人税等調整額 | 13,667 | △57,700 |
| 法人税等合計 | 15,580 | △55,287 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | — | △144,770 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 13,167 | △144,770 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 28,748 | △200,058 |
| 減価償却費 | 381,755 | 428,383 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △3,866 | △1,412 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △7,376 | △8,542 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △7,473 | 4,581 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,634 | △1,668 |
| 支払利息 | 226,385 | 229,136 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 46,302 |
| 固定資産除却損 | 7,125 | 27,149 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 139,602 | 155,884 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 41,477 | 31,972 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △72,730 | △95,513 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △36,964 | △114,790 |
| その他 | 48,812 | △78,226 |
| 小計 | 743,861 | 423,198 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,634 | 1,668 |
| 利息の支払額 | △231,206 | △217,112 |
| 法人税等の支払額 | △24,922 | △63,627 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 489,366 | 144,126 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △91,765 | △332,845 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,980 | △297 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △94,745 | △333,142 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | — | 13,900,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △362,200 | △13,465,820 |
| リース債務の返済による支出 | △24,520 | △26,576 |
| 自己株式の取得による支出 | △25 | △209 |
| 配当金の支払額 | △30,180 | △30,626 |
| その他 | — | △202,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △416,925 | 174,767 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △22,305 | △14,248 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,181,248 | 1,104,073 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,158,943 | 1,089,824 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社グループは、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営およびホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定および業績評価は当社グループ全体で行っていること等から判断して、事業セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。